

## EGGPLANT

ホームスクール通信 エッグプラント

Nファミリー  
2007.10.1  
No.39

先月号で神のジャッジ(裁き)について考えました。そもそも、なぜ神は人間を裁かれるのでしょうか。人間以外の動物にはいわゆる「死後の裁き」はないと聖書は言います。それは人間と動物とは「造られた背景」が違うからです。一般的な動物は本能のままに生き、それで彼らの生きる目的は達成され、動物自身も不満を感じません。しかし、人間には本能プラス「自由意思」が与えられました。神からそれぞれ才能が与えられ、それを自由に用いる権利が与えられているのです。神から各自に与えられた能力と、後の清算(人間で言えばジャッジ)をつまく表したイエスのたとえ話があります。

「天の御国は、しもべたちを呼んで、自分の財産を預け、旅に出て行く人のようです。彼は、おのおのその能力に応じて、ひとりには五タラント、ひとりには二タラント、もうひとりには一タラントを渡し、それから旅に出かけた。

五タラント預かった者は、すぐに行って、それで商売をして、さらに五タラントもつけた。同様に、二タラント預かった者も、さらに二タラントもつけた。ところが、一タラント預かった者は、出て行くと、地を掘って、その主人の金を隠した。

## 神はなぜ裁かれるか



さて、よほどたつてから、しもべたちの主人が帰って来て、彼らと清算をした。すると、五タラント預かった者が来て、もう五タラント差し出して言った。  
『ご主人さま、私に五タラント

預けてくださいました。ご覧ください。私はさらに五タラントもつけました。その主人は彼に言った。『よくやった。良い忠実なしもべだ。あなたは、わずかな物に忠実だったから、私はあなたにたくさんのお金を任せよう。』  
主人の喜びとともに喜んでくれ。『二タラントの者も来て言った。『ご主人さま、私は二タラント預かりましたが、ご覧ください。さらに二タラントもつけました。』その主人は彼に言った。『よくやった。良い忠実なしもべだ。あなたは、わずかな物に忠実だったから、私はあなたにたくさんのお金を任せよう。』  
主人の喜びとともに喜んでくれ。』ところが、一タラント預かっていた者も来て、言った。『ご主人さま、あなたは、蒔かない所から刈り取り、散らさない所から集めるひどい方だとわかっていました。私はこわくなり、出て行って、あなたの一タラントを地の中に隠しておきました。さあどうぞ、これがあなたの物です。』ところが、主人は彼に答えて言った。『悪いなまけ者のしもべだ。私が蒔かない所から刈り取り、散らさない所から集めることを知っていたというのか。だったら、おまえはその私の金を、銀行に預けておくべきだった。そうす

れば私は帰って来たときに、利息がついて返してもらえたのだ。……』(マタイ二十五章十四節)

この時代のお金の単位であった「タラント」から、現在「芸能人」の意味などで使う「タラント」ということができました。「才能・賜物」という意味です。私たちは神から一時的にタラントを預かっているのです。人から預かったものを勝手に使ったら、後でひどい目に会うのは当然でしょう。人間は神のために賜物を用い、増やし、後の清算のときに栄誉をもらうはずでした。「わずかな物」とありますが、一タラントは現在の六千万円もの大金です。では「たくさんのお金」とはどれほどでしょうか。それほど多くのものを後に人間に「任せたい」と願っているのが神なのです。ところが、人間はその神の意図を大きく曲げました。土に埋めるどころか自分勝手、好き放題に使ったのです。現在の人間の状態は次のように表わされています。

「義人はいない。ひとりもない。善を行う人はいない。ひとりもない。すべての人は罪を犯したので神からの栄誉を受けることができず……」。(ローマ三章)

聖書が言っている「罪を犯す」というのは警察の厄介になるといふよりは、創造主を無視し、本来の目的から逸れているということです。この人間に対し、神は人間を救う計画を立てられ聖書を通じて通達されました。(つづく)

ミヨシ石鹸株式会社

N様

拝啓 早々のお手紙、うれしく拝見させていただきました。

私どもとしまして、遠方から工場見学に来て頂き誠に感謝しております。

今回の見学で、逆に子供たちから学ばされたこともありました。正門で初めて皆さんとお会いした時、子供たちの笑顔での挨拶や、見学中の真剣なまなざしと礼儀正しさには、何か私どもこそ教えられたような気がします。

ミヨシ石鹸は、大手の洗剤メーカーさんとは比較にならないほど小さな会社ですが、真心やお客様に対する挨拶は、会社が小さくても日本一の会社を目指しております。商品の持つ人や環境にやさしい中身と、その商品を作る私どもにやさしさや真心があつてこそ、お客様に本当の意味で喜んで頂けるものと考えております。どうぞ今後とも

ミヨシ石鹸をよろしく願います。

最後に、皆様のご健闘とご活躍を心からお祈りしております。

敬具

ミヨシ石けん 神戸工場のみなさんへ  
工場見学させてくださってありがとうございました。工場ではいろいろな機械を見せてもらったり、作られたばかりのホカホカの石けんをさわらせてもらったりしました。  
すごく工場の中は暑かったです。案内してくれた方から、初めは暑くて三ヶ月働いて十七キロもやせた話を聞いてびっくりしました。働くことのたいへんさも学びました。実験も見せてくれました。どんなに石けんを使っても水の量が少なかったら、汚れが落ちないなどいろいろ教えてくださって勉強になりました。また僕たちをむかえるために、工場の門で待っていてくださり、ていねいな案内をしてくださってありがとうございました。すばらしい工場見学でした。

E

こんにちは！ 行事報告

九月

十三日

JCホームチャータスクール

十七日 空手夏季昇級審査

二十二日

土曜学校（昔遊び）



ミヨシ工場見学のお礼の手紙を五人が一人ずつ出しました。すると工場長より返事を頂きました。丁寧な工場での案内と手紙にとっても感動しました。

土曜学校「剣玉」

N

第三回目「土曜学校」がありました。土曜学校というのは、毎月一回あり、ゲストをお招きして、みんなと一緒にいろんなことをします。今までは、アイスクリームを作ったり、大きな模造紙に絵を描いたりしました。土曜学校は小学生以下が対象なので、私はワーカーとして参加しました。  
今回は「昔遊びをしよう」ということで剣玉をしました。私はどちらかというと、剣玉が得意なので、子供たちと一緒に教えてあげながら、楽しく遊ぶことができました。子供たちもとても楽しんでいました。

私は剣玉を、小学三年の頃から始めました。父がやっているのを見てかっこよかったので、やってみたいと思いました。そして、父から新しい剣玉をもらいました。それから六年たった今、二級レベルの技ができるようになりました。剣玉も使えずにポロポロになり、色もはげてしまいました。剣玉は、はじめは難しかったです。コツをつかむことができたので、どんどんいろんな技ができるようになりました。これからも続けていき、一級目指して頑張っていきたいです。

### 編集後記

土曜学校をきっかけに突然起こった「剣玉ブーム」通称「もしかめ」（大皿と中皿を玉が行き来するわざ）の音が家の中に響きわたります。三百とも千以上とも言われる剣玉の技。奥が深いですよ！ちなみに日本剣玉協会初代会長藤原氏はキリスト者です。